

# 夢への飛躍

金沢桜丘高校いしかわニュースーパーハイスクールだより

平成 29 年度 第四号  
編集：NSH推進課  
発行責任者：下根浩明

## 海外に進出している県内企業研修

7月26日(水) 午後に、205Hと206Hの皆さんが、21世紀の国際社会を生き抜くための実践的な知識、想像力、国際感覚を身につけるために、海外に支店や工場等を持っている県内企業を訪問しました。

### 人文科学

三谷産業(株) 及び (株)PFU を訪問

#### <三谷産業株式会社>

会社概要の説明・社屋の見学の他、ベトナム人若手職員との交流を通して、海外展開の現状や企業姿勢について学びました。



#### <株式会社PFU>

会社概要の説明のあと、海外事務所駐在経験者の方や横浜の海外人材サポートスタッフの方とテレビ会議システムを使って交流し、海外の体験や海外事業の現状等について質疑応答をしました。



- ・海外で仕事をするためには、語学力だけでなくアクティブに行動が取れることも大事だと感じた。
- ・高校大学で何を学び、将来どういう自分になりたいか、具体的に考えることができた。
- ・国際人になるためには、「百聞は一見に如かず」。よく見て心をオープンにすること。
- ・異文化に触れることで、日本のことを客観的に見られるようになり、それが必要だと思った。
- ・どんなときもいろいろな立場になって考えることが大切だと感じた。

### 自然科学

(株)富士通ITプロダクツ 及び 参天製薬(株)能登工場 を訪問

#### <株式会社富士通ITプロダクツ>

会社概要の説明では、海外展開の状況や設計開発の現状等についてお話がありました。工場見学では、品質を維持しながら効率を上げるしくみ等を丁寧に解説していただきました。



#### <参天製薬株式会社能登工場>

会社概要の説明では、海外展開の状況や品質維持のための取り組み等についてお話を聞きました。工場見学では衛生管理の仕組みなどを詳しく説明していただきました。



- ・海外に進出している企業は、それだけの技術と実力があるのだと実感した。
- ・語学力をつけないといけないと思った。
- ・企業には、物事を実行するための“工夫”がたくさんあるのだとわかった。
- ・機械化が進む中、人は機械ができない秀でた創造力を持っていないといけないと感じた。
- ・品質や衛生管理が徹底されていて、細かいところまで気を配っているところがすごいと思った。

## 生徒の感想から

- 将来、自分をはたらくかもしてない職場を想像できた。
- コンピュータや機械による仕事が多くなっていくのだと思うが、その中でも必ず新たな課題が出てくると思うので、それを解決していくのが私たち世代の使命だと思った。
- 実際に工場を見て、知らなかったことや発見したことがたくさんあった。